

会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 患者情報共有・ICT 部会	
開催日時	令和5年7月13日(木) 開会：19時00分・閉会：19時45分	
開催場所	産業文化会館管理棟 2A会議室	
出席者(委員)氏名	藤井尚子、上村勇樹、松原克彦、小沼 豊蔵、石島弘美、平賀絵美、 渊上通子、大山恵巳、川島 治	
欠席者(委員)氏名	栗原 肇、江袋文紀	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケアグループ 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	I. 前回のまとめ II. 議題 1. MCSについて 2. 「わたしの人生ファイル」について III. 今後の予定 1. MCSについて 2. 「わたしの人生ファイル」について	
会議資料	(資料名・概要等) ・ICT/患者情報共有部会次第	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名	
令和5年 8月10日	藤井 尚子 ----- 上村 勇樹	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
藤井委員 各委員	<p>【開会】 19:00</p> <p>I. 前回のまとめ</p> <p>1. MCS 利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療になかなか普及していない⇒ 理由:知られていない、認知度が低い</li> <li>・MCS の研修会は 1 回しかやっていない⇒ 繰り返しやる必要があるのでは</li> </ul> <p>2. 行田人 16 号原案の確認（第 3 弾「笑顔の旅立ち編」）</p> <p>3. 「わたしの人生ファイル」のシリーズ化（行田人） 17 号から 4～5 回に分けて行う</p> <p>4. パンフレットについて キャッチフレーズを決定 「医療と介護の支援ディングノート」</p> <p>II. 議題</p> <p>(1) MCS 利用状況</p> <p>報告のとおり。</p> <p>使っているところは、使っているが利用機関が増えない。 便利なツールであるが、メール機能として使っている。 メールや電話でもよいものがあるが、MCS を使っている先生の話がききたい。</p> <p>画像が送信できるのはメリットである。口腔内の画像などは、口頭で伝えられるよりも分かることが多い。</p> <p>利用する市内医療機関は、現状が最大と思われる。電話で良いとする医療機関が多い中でなかなか普及しない。</p> <p>ケアマネや訪問看護で使いたい事業所が増えてくるとよい。 市外の医療機関では利用している。市外の医療機関においても、承諾書の取り交わしで利用可能となると思われる。</p>

訪問介護は、過去にターミナルのケースで利用していた。

緊急ではないが、医師へ連絡したいときに利用できる。

血尿など画像を使用していた。

通所介護でも過去に利用していたが、文章を送っても確認してくれるのみだった。

訪問看護としては、活用事例がないが医師への相談を躊躇することがある。緊急時は電話となるが、それ以外で使えるとよい。介護事業所として使用端末の問題がある。事業所用の端末がないと使いにくい。

MSC は使いにくさがある。アプリなどとして使い勝手がよくなるとよいのではないか。

事業所団体の集まりで、周知できないか。普及する団体を絞って伝えるのもよい。例えば、訪問看護など。

3月の医師会の健康フォーラムを活用し、事業所団体の集まりを行って、訪問看護などへ普及させるのはどうか。

事業所同士のネットワークづくりも MCSで行うのはどうか。

後日メールで、MSCの必要性のアンケートを実施する。

## 2. 「わたしの人生ファイル」について

配布状況は、報告のとおり。

行田人への掲載シリーズ化に向けてのアイデア募集は、メールで実施する。

【閉会】 19 : 45